

広報

今 帰 仁

なきじん

毎月1日発行

1998

11月

NO.276

●今帰仁村の人口

男4,828人(+11) 女4,804人(+7) 計9,632人(+18)

世帯数3,293戸(+6) 平成10年9月30日現在

今帰仁御神



子どもサンシン教室で 大人顔負けの演奏を披露

子どもたちに三線の初歩的な演奏技術を習得させ、伝統芸能に興味をもたせようと、村教育委員会主催の「子どもサンシン教室」が七月十一日から十月三十一日までの間、村中央公民館和室で開かれた。

教室には幼稚園児や小学生十五人が参加。初めのうちは慣れない手つきで三線を引いていた子どもたちが回を重ねることに上達。講師の上間久武先生(兼次小校長)も目を細めた。

学級長の与那嶺将君は「三線は難しいけど沖繩の昔の歌を覚えることができてよかった。また来年もこの教室を開いてもらいもっと練習を続けたい」と感想を述べた。

なお、「サンシン教室」の子どもたちは十一月一日に行われる村文化祭の舞台発表に出演する予定。

今帰仁村民憲章

- 一、 みんなで守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
- 一、 みんなでつくろう うるおいとやすらぎのある村を
- 一、 みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
- 一、 みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
- 一、 みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を

第53回 村陸上競技大会

謝名・越地 悲願の総合優勝

男子・与・仲(初V) 女子・謝・越 壮年兼・諸

第五十三回村陸上競技大会(主催・村体協)が十月三、四の両日、村運動公園と村宮グラウンドで開催され、一般男女、壮年の三部に分かれて村内十チームの選手たちが健脚を競った。

大会初日に行われた女子円盤投げで早々と大会記録が更新された。

大会二日目は前日の晴天がまるで嘘のような大荒れの天気の中、各チームの選手たち

各部門別成績表

順位	チーム	得点
総合	謝・越	137.6
	兼・諸	131.9
	与・仲	127.9
男子	与・仲	57.1
	今泊	48.1
	謝・越	47.1
女子	謝・越	46.5
	兼・諸	43.5
	仲宗根	30.5
壮年	兼・諸	56.3
	今泊	49.3
	与・仲	47.3

は水しぶきを上げながら熱戦を展開した。その結果、男子は与那嶺・仲尾次が優勝、女子は謝名・越地に栄冠、壮年は兼次・諸志に輝き、総合は謝名・越地が悲願の初優勝を果たした。なお恒例の男子最優秀選手賞(村長賞)は五十代砲丸投げでタイ記録の与那嶺政有さん(与・仲)に、女子最優秀選手賞(議長賞)は女子円盤投げに新記録を樹立した宮里



▲初の総合優勝を飾った謝名・越地チーム

すま子さん(謝・越)にそれぞれ贈られた。大会新記録
▽女子円盤投げ
宮里すま子(謝・越 33 m 13)
大会タイ記録
▽五十代砲丸投げ
与那嶺政有(与・仲 9 m 63)



▼50代砲丸投げ 大会タイ記録の与那嶺政有選手(与・仲)に村長賞が贈られた
▲女子100MHのみことなハードリング
▼トップ争いを演じる選手たち。男子1500M
▲30代100Mゴール前の力走
▲男子10KMで優勝した古嶺真選手(謝・越)
▲今年も今泊と兼・諸の争いとなった30代1500M
▲女子円盤投げで大会新記録を樹立した宮里すま子選手(謝・越)
▲他を圧倒、40代砲丸投げを制した石川清陸選手(今泊)



▲力強くボールを投げる大城喜英選手

第34回県身体障害者スポーツ大会

障害を乗り越え 自らの限界に挑戦

スポーツを通じて、障害者の自立意欲の向上と社会参加の促進を目的に、第三十四回沖縄県身体障害者スポーツ大会が九月二十日、石川市民運動場で行われた。

はボランティアの皆様の心温まる気配りや支援により大会をスムーズに運営。各地域の選手たちは多くの仲間と友情を深め、楽しい一日を過ごした。各種目の成績は次のとおり

大会には本村から九人の選手がエントリー。それぞれの得意の競技に日ごろ鍛えた技と力を発揮し、すべての種目に上位入賞を果たした。

また、当日

種目	順位	選手名
ソフトボール投	3位	波名城政隆
ソフトボール投	3位	大城 喜英
卓球	3位	上間 精治

種目	順位	選手名
背泳ぎ50M	優勝	金城 正春
ソフトボール投	2位	金城 洋子
卓球	2位	酒井 鋭二
やり投	上位	仲宗根宗康

種目	順位	選手名
ソフトボール投	優勝	照屋 タケ
砲丸投	2位	上間 俊光

運動会

パワー全開、走れ! 躍れ! 最後まで村内各学校で



慣れない手つきでフォークダンス

秋晴れの九月二十日、二十七日の両日、村内の各小学校、中学校で運動会が開催され、本番に向けて短い期間の中でみっちり練習を積み重ねてきた生徒たちの多彩な種目が披露された。

古宇利小中学校(島袋啓一校長・児童数五十人)では「パワー全開!今このとき」をテーマに島中から多くの字民が参加してにぎわった。

運動会で大城藤夫村教育長は「生徒たちの行進する姿を見ればその地域の運動会の様子がわかる。子どもたち一人ひとり真剣に元気はつらつとして気持ちがいい」と話し、生徒たちを誉めた。

家族で楽しく朝読み夕読み

天底小六年 宮里 かおり



学対シリーズ(47)

私は三、四週間くらい前から、朝読み、夕読みをするように心掛けています。

なぜかというところ、泉さんにしげきされたからです。国語の朗読の時間に、泉さんの朗読を聞きました。はっきり、感情をこめて読んでいるように思えます。何回か、「本読みが上手だね」といわれたぐらいで喜んでいた私は、自分がどれだけ「井の中のかわす」だったか思い知ることにになり、朝読み夕読みをしようという気持ちになりました。

私はその日のうちに「父さん、母さん、朝読み夕読み毎日続けるから、聞いてちょうだい」と父さんや母さんに忙しい時間をけずって私の朝読み、夕読みに協力してもらえようたのみました。

始めたころは、「かおりー、あんた本読みするんじゃないの、もうやめたの」というお母さんの声におされて読んでいました。けれど、一、二週間くらいたつと、母さんの「ダン」という本読み開始の合図で、読むようになったのです。

父さんは、本読みの声の大きさはいいか、点や丸、会話などに気をつけているかなどを見る評価表を作ってくれました。

私が朝読みをすると、ポーンとしていた妹も朝読みを始めた。おうえんしてくれませう。弟も最初は「うるさいよー、かおり姉々」とぶつぶつ言っていたけれど、妹や私と絵本の朝読みをするようになりました。父さん母さんの協力、弟や妹のおうえんなどが大きな力になっていく気がします。

「ほら、もう少し声を大きくして、もつとゆつくり」お父さんの熱心な教えかたで本を読むと、朝読み、夕読みの力を引き出している気がします。最近、前よりはつきり読めるし、口の形にも気をつけています。

また、学校の授業の時など、発表の機会があれば、すぐ手を上げるようになりました。父、母、弟、妹のおかげで朝読み、夕読みをがんばれたと思いま

す。初めは、人へのうらやましから始めた本読みも、今ではすっかり家族のきずなを深めてくれました。これからも朝読み、夕読みをみんな楽しんで続けたいです。

読みます 聞かせます

心を込めて 朝読み夕読み

兼次小三年 しよきだ しげる

朝食後に本読み 夕食後に本読み

ああ まんぷく まんぷく

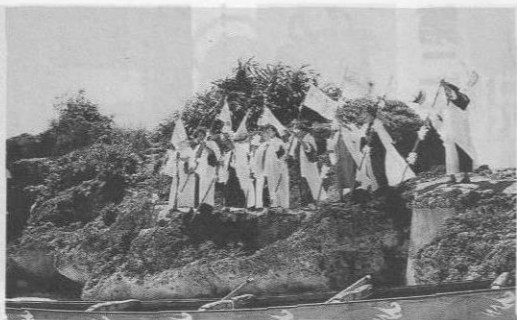
天底小四年 嘉陽 宗亜樹



▲今帰仁小3年 与那嶺 亜 耶

「朝読み・夕読み」作文・標語・ポスター・コンクール優秀賞

古宇利の海神祭(ウんジャミ) 上運天の豊年祭にぎわう



▲島民の健康と豊作を祈る

頭にハトブイの神人たちが旗を持ってアサギの前で御願を行う。その後、旗を持った神人たちは海に突き出た岩場(シラサ)に移動し、今年も島のみんなの健康と豊作を祈った。

神人の御願がすむとハトブイに移り、アガリ、ナカ、イリーの三組に別れて勝負を競った。

翌日行われた豊年祭は多くのシマンチユが舞台で披露される伝統芸能を楽しみながら夜遅くまでにぎわった。

また、上運天の豊年祭は悪天候のため予定していた道ジュネーを中止、会場を上運天農村公園(ウヘー)から公民館に移して開催された。



▲観衆を魅了した松竹梅

舞台は獅子舞と長者の大王で幕を開け、上運天ならではの独自の演目が今年も注目を集めた。

特に、子ども会によるアンパンマン音頭は子どもたちのかわいらしい仕草に詰め掛けられた観客から盛んな拍手が送られた。

全国地域安全運動に ダチョウも一役 本部地区住民大会



「子どもの安全みんなの気くばりこころくばり」の他二つのスローガンを掲げ、十月九日、本部地区住民大会が本部町中央公民館で行われ、関係機関・団体多数が参加した。

大会で西島一将防犯協会会長が「みなさんの協力で犯罪防止対策を強化し、住みよい安全な環境づくりに努めていきたい」とあいさつ。

その後、本部警察署長と来賓のあいさつがあり、続いて小学生、中学生、高校生、PTA代表がそれぞれ地域安全について意見発表をした。

また、空中写真コンク



▲感謝状を手に喜びの宮平博旦校長



▲ダチョウの先導で地域安全を呼び掛ける

▶ 健康を受ける住民 (岡山)



保健婦 だより

冬を訪れを感じる今日この頃、村民の皆様にはいかがが過ぎでしょうか。

十一月二日から八日までは全国糖尿病週間です。今回は今帰仁村における糖尿病の状況を述べたいと思います。

一、糖尿病とはどんな病気
糖尿病は、膵臓から分泌されるインスリンというホルモンの作用が足りないために、体内で栄養の代謝(利用)が正常に行われない状態になり体の新陳代謝に様々な異常が起こってくる病気です。糖尿病は神経や目、腎臓などに徐々にしるびより失明や腎不全などの怖い合併症をも引き起こし、ついには寿命を短くするほどの恐ろしい病気です。

この病気の原因は、すべてが解明されている訳ではありませんが、多くの場合運動不足や食べ過ぎ、肥満、ストレスという悪い生活習慣が重なっ

規則正しい生活で 糖尿病を防ごう！

て中高年以降に発病します。糖尿病はまさに現代の豊かな日本の社会生活が生む病気ともいえるでしょう。



アキサミヨへ、デーシナタン
適度な運動をしましょう。 食べ過ぎは禁物。

二、今帰仁村の状況
村で毎年行なっている住民健診において、「糖尿病(疑含む)」の有所見者が最も多いという結果が出ています。これは、平成六年・九年度にかけて続いており、平成九年には基本健診受診者一、九四三人中糖尿病疑念の者三三六人で、約二四・九%が糖尿病有所見者という結果が出ています。

また、市町村別糖尿病標準化死亡比(各市町村間の人口の差・年齢の割合の差をなくし、平均的に死亡率を比較できるようにしたもの)においても、男性はその死亡率が高く、県内でワースト九位(沖



指示が出たら早目に受診する

縄県における成人病死亡の疫学調査・平成七年三月、沖縄県環境保健部)となっています。

以上のように、今帰仁村では糖尿病が大きな健康問題となっています。しかしながら、糖尿病は初めに述べたように、恐ろしい病気でありながら、悪くなるまではほとんど無症状のまま経過するため、検査で指摘されても放っておく人は少なくないのです。

糖尿病は発見が遅れると恐ろしい病気ですが、早く発見し、早期から医師の指示に従い、食事療法と運動療法を基本に治療を続けていけば、普通に生活することも可能です。一番大切なのは、やはり予防ですが、日頃から健診を受け、その結果を役立てる(指示が出たら早目に受診するなど)ようにこころがける事が予防の第一歩です。

また、村では、毎週月曜日に保健婦室において健康相談を行ったり、糖尿病予防教室などを開催しています。ぜひご利用下さい。



手塩に掛けた肉用牛 四十四頭で品質を競う

第二十二回北部地区 畜産共進会

十月一日、第二十二回北部地区畜産共進会(北部振興会主催)が北部七市町村から四十四頭の肉用牛が出品され、村営家畜セリ市場で行われた。

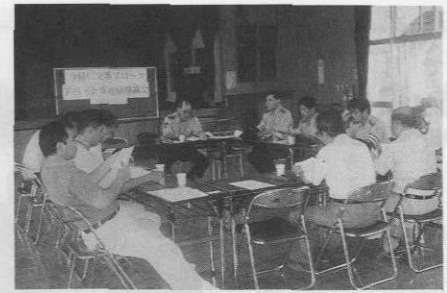
共進会には本村も肉用牛八頭を出品。厳正な審査の結果伊江村が上位を独占した。

審査講評では品質、体型ともに申し分ないが栄養度が高すぎて減点される肉用牛も見られ、飼育管理の難しさを改めて感じさせられた。



▲高品質を誇る北部地区の肉用牛集まる

地域の安全確保のため 今帰仁交番ブロッカーアパート等 連絡協議会を結成



▲これからの取組について話し合う委員

九月三十日、今帰仁交番ブロッカーアパート等連絡協議会結成式が仲宗根公民館で行われ関係者十一人が参加した。

協議会は今帰仁交番ブロッカー管内のアパート、賃貸マンション、公営団地等における日常生活に身近な犯罪、事故災害等の未然防止を図ることを目的としており、その日は地域安全に関する情報交換や

アパート等における日常の安全対策、地域の実情に応じた活動を推進していくことなどが話し合われた。

協議会の委員は、警察側から地域課長、交番所長、当日の勤務員など五人。住民側からは、村役場職員、村議会議員、区長、建設業者、少年補導員など十人、合わせて十五人で構成されている。

玉城紀雅今帰仁交番長は「皆様の協力で地域安全の確保に全力を尽くしていきたい」と決意を新たにされた。

新議長に運天政徹氏

副議長は喜屋武治樹氏

九月十三日の村議会議員選挙で当選した新議員による臨時議会が九月二十八、二十九の両日開催され、新しい議長に運天政徹氏(運天)、副議長に喜屋武治樹氏(仲尾次)をそれぞれ選出した。

また、各常任委員は次のとおりです。



副議長 喜屋武治樹氏

議長 運天政徹氏

総務委員長	石嶺光敏
副委員長	宮城博政
委員	島袋輝志雄
委員	新城安昌
委員	照屋晃
委員	嘉陽宗敬

経済工務委員長	与那嶺吉正
副委員長	与那嶺好和
委員	与那嶺幸人
委員	小波津忍
委員	新城元
委員	玉城吉信
委員	米須春治

文教社会委員長	東恩納寛政
副委員長	與那嶺清治
委員	山城正
委員	座間味米立
委員	玉城克義

北山高校創立50周年 その草創期を顧みる(11)

運天政 一 師の影はいつまでも濃く



昭和二十三年九月、開校当初の職員は十名で、そのご芳名は先月号に列記したが、五十年を経て過半の方々が他界された。

同年三月末日、開校認可とともに、戦後教員養成機関として設立された沖縄文教学校の教頭職から赴任された赤嶺康成校長先生は、東京高師・文理大出の当時としては屈指の高学歴の方で、「琉大が開学すると最初に教授になられる人」と私たち生徒の耳にも聞こえていたが、身近に「結婚してから大学を出るといふ晩学デネ」と内輪話を聞かせてくださるほど、気さくでやさやかな温かいお父さんという印象が強い方でした。

同時に教頭として赴任した田港朝明先生は、國學院大學高等師範部を出られた後、戦前長い間東京の高等女学校で国語の先生をされ、戦後帰郷するや宜野座高校の教頭に就任されたが、本村出身ということでも囁望されての赴任となつた。古典「奥の細道」の解説での優しいこまやかな言葉



創立当初の職員 (昭和23年)

- 玉城啓佐 事務官
- 仲本真一 吉田正徳 教頭
- 小浜一芳 田港朝明 校長
- 新城紀秀 赤嶺康成 校長
- 仲本一郎 赤嶺康成 校長
- 上間政春 本田晶子

授業の合間、或るいは放課後 時には夜半に至るまで職員室の一角に据えられた茶飲み台を囲んで交わされる談論風発は、身近には文言、言葉使いから教育に対する姿勢、時代の趨勢に対する考え、生き方等極めて啓示に富み、この三年間で受けた薫陶は計り知れない。「僕に、高校教師は勤まるか、資質はあるか」など、深刻に思つたこともあり、二十歳そこそこのわが身を省みず、諸先生方と「おなじ気」になつていたことをほろ苦く思い出すのである。

ところで特にここ数年の間に政春先生、下門先生、吉田先生が相次いで他界され、世紀を画する時の到来との巡り合わせを思う。このシリーズを書き始めて間もない頃、創立の頃の話を伺うべく、吉田

先生のお宅を訪ねたのは去る四月八日の午後のことであつた。二時間ほど四方山話をし、帰つたが、さすがに県議二十年の大ベテランも少々トーンダウンされてこられたかなと思つたが、こんなに早くとは思いもよらなかつた。

思いつくまに、話は昔に戻るが今帰仁、天底、湧川の三教場に別れていた大井中学校が、昭和二十五年九月湧川を併置校に残して、現在地に今帰仁中学校として統合された。当時私は今帰仁中学校教官であつたが、その年の統合記念運動会で、新城力先生が独りでトランペットを吹き、一日を盛り上げ、翌年の運動会には下門先生がクラリネットと一日を盛り上げた。北山草創期の先生方はこんな形で地域の教育に貢献していた。今は昔の話である。

つい故人の思い出に偏つたが、創立十勇士の中の健脚お二人の思い出を少々語つて本稿を締めたい。それは卒業年次で一、二期生を担任した玉城啓佐先生と三期生を担任し

た新城紀秀先生のことである。ともに県高校教育界の功労者で先輩の紀秀先生はそのことで叙勲され、後輩の啓佐先生は現在県高校長春秋会(ORB)会長(私たちの親分)で、ともに今なおいろいろと活躍である。語りたことは山ほどあるがエピソードを一つ。私が県教育庁学校指導課に在職中、同じ職種にあつた人に津留健二さんがいる。この人は後に県教育長にまでなつた人で、教育者の鑑のような人だが、この人がよく私に言つたことに、「あなたは、取り巻きに素晴らしい方々を持つ」と。それは前後して県教育行政に携わつた下門、紀秀、啓佐の三先生のこと、教育庁内の同僚達から「三方みなルーツは北山か」と言われたものである。諸先生方の県教育界での人望の高さはこの一話に尽きる。

教職三十九年を終えて六年目、北山創立五十周年を迎える今、また改めて往時の師の影がいつまでも色濃くあるのを感じるのである。

アメリカ、ミスコンテストの女王 ジェニファー・シヨーツさん 久しぶりの里帰りを楽しむ



▲ジェニファー・シヨーツさん

昨年十一月、アメリカミネソタ州のミスコンテストで「ミネソタ・ティーン・スウィートハート」に選ばれ同州の代表権を獲得。さらに今年七月にアメリカ全土を対象として行われたコンテストで大賞にあたる「ナショナル・アイディール・ミス・ビューティー」に輝いたミネソタ州在住のジェニファー・シヨーツさん(二七)が九月二十三日から母親の恵美子さん(四四)と姉のクリスティーナさん(二九)とともに母の実家である上運天の祖父(上間富雄、シズエさん)宅を訪れ、話題にな

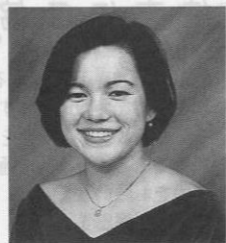
っている。 今回の里帰りは体調を崩している祖父富雄さん(八三)の見舞いを兼ねたもので、四年ぶり五回目。美しく変身した孫の姿に富雄さんとシズエさん毛髪はとも喜び、何よりの薬となった。ジェニファーさんは流暢な日本語で「寒さには強いけど暑いのは苦手です。でも沖縄は大好き」と話していた。



▲本場の英会話を子どもたちに教えるクレイトンさん

クレイトンさんは二期から今帰仁中学校を皮切りに村内各中学校で英語の指導助手として頑張っている。これからの活躍を大いに期待したい。

クレイトン マリサさんが 村教育委員会に赴任 英語の学力向上に期待



クレイトン マリサさん

本村における幼児、児童生徒の英語のコミュニケーション能力を高め、村民の国際理解及び国際交流の発展を図る目的でクレイトン・マリサさん(写真)が七月二十一日付で村教育委員会に赴任した。

去つた夏休みの期間に「クレイトン」と遊ぼうと題して小学生を対象に英会話教室を二週間にわたって実施。彼女の持ち前のキャラクターに加え、子どもたちに関心をもちたせるような教え方が好評で予想以上の子どもたちが参加。本場の英会話を学んだ。

今帰仁中学校 創立50周年 記念式典は12月6日(日)です。

◆ 今月の青少年の主張大会は
都合により休みます。 ◆

「違法銃器根絶」についての 協力依頼

- 銃器の不法所持や密輸入は法律で厳しく禁止されています。
- けん銃・実弾を持って自首すれば刑が軽くなったり、免除されるように法律が改正されました。
- けん銃に関する情報をお寄せください
本部警察署 47-4110
警察本部銃器対策課 867-1924
沖縄県警察本部・本部警察署

平成11年版 「沖縄県民手帳のお申し込みについて」

【編集・発行】沖縄県統計協会
沖縄県のすがたが一目でわかる便利でスマートな手帳です。

大型版(9cm×14cm).....600円
小型版(7cm×11cm).....300円

【お申し込み・お問い合わせは】
今帰仁村役場企画財政課
☎0980-56-2101

◆お申し込みはお早めに!

11月15日は沖縄県知事選挙の投票日 「小さいけれど大きい一票の力」

平成10年12月9日に沖縄県知事が任期満了となります。それに伴い来る11月15日(日曜日)に沖縄県知事選挙の投票を行うことになりました。

有権者の皆さんは、村選挙管理委員会から郵送された入場券により指定された投票所で投票して下さい。

○今回の選挙で投票できる人
今回の沖縄県知事選挙で有権者として投票できるのは、投票日までに満20歳に達する人(昭和53年11月16日以前に出生した人)で、平成10年7月28日までに今帰仁村に住所を有する(届出)に至った人。その日後の転入者は、前住所地で投票できますが、居住証明が必要となります。

○不在者投票
不在者投票は、特別な事由により投票することができない場合に指定された場所において投票することをいいます。この投票は、特別な事由がある旨の宣誓書を提出して行う事になっています。偽りの宣誓書を提出して不在者投票を行った場合は罰せられることもありますので充分注意して下さい。その他指定を受けた病院、施設等においても不在者投票ができます。

○郵便による不在者投票
重度の障害者で、投票日に投票所におもむいて投票することができない場合に、自宅にて投票用紙に候補者氏名を記載しそれを郵送する方法です。

この場合は、郵便投票証明書が必要ですので、早めに村選挙管理委員会で手続きをして郵便投票証明書の交付を受けて下さい。(郵便による不在者投票をすることができる者は、身体障害者福祉法第4条、戦傷病者特別援護法第2条第1項の手帳所持者)、投票用紙の請求期限は、投票日の4日前まで、早めに手続きをして下さい。

お問い合わせは村選挙管理委員会へ
電話56-2101(内線38)



少年の主張大会において
岸本江利香さんが優秀賞を受賞

第二十回少年の主張大会が九月二十七日、沖縄女性総合センターで行われ、岸本江利香さん(国頭地区代表、今帰仁中二年)が最優秀賞には後一步及ばなかったが、

持ち前の明るさと園切れのいい発表で優秀賞に選ばれた。江利香さんは「ここまで来るとは思いませんでした。チャンスがあればもう一度挑戦したい」と闘志をもちました。

学童七百三十八人を含む約千五百人が犠牲になった対馬丸の悲劇から五十四年、ちょうどそれと時を同じくして熊本県に集団疎開した人がいる。その人は玉城和子さん(七十八歳・勢理客一〇〇)で現在子どもたちと一緒に「カズ鮮魚店」を営んでいる。和子さんは戦時中、熊本県阿蘇郡産山村へ集団疎開し、田の草取りや稲刈りなどの仕事をしながらお寺(善行寺)での集団生活を支えた。

集団疎開以来五十数年ぶりのたよりに 思いを募らせる『玉城和子さん』

和子さんはそのまますに残りお年寄りの世話に当たった。その苦労は計り知れないものであったようだ。戦後五十数年経った今、当時お世話になった熊本(産山村)の人たちにもう一度会ってお礼を言いたいとの熱い思いからペンを走らせ、今回のたよりになった。



▲玉城和子さん

玉城和子さんは「当時の方々はほとんどなくなりましたがその二世の皆さんが私の名前を覚えていてくれてほんとうによかった。お互い元気なうちにお会いしなつかしい話を語り合いたい」と涙ながらに述べ、思いを募らせた。

とが昨日のようにはつきりと蘇り涙がこぼれてきました。よく名前を覚えてくれていたね、うれしかったです。お会いできる日を楽しみに頑張ります」と書き記した手紙が届いた。

あまから 伝言板 くまから

第10次漁業センサス実施のお知らせ

農林水産省では、本年11月1日、「第10次漁業センサス」を実施します。漁業センサスは、我が国の漁業の実態を明らかにする最も基礎的な調査です。調査員が訪問して漁業経営の状況などをお伺いしますので、漁業関係の皆様方のご理解、ご協力をお願いします。 企画財政課 企画係

「犯罪捜査にご協力を」

11月は「氏名手配被疑者捜査強化及び捜査活動に対する市民協力確保月間」です。

- 指名手配犯人検挙にご協力をお願いします!
- 「事件かな」と思ったら迷わず110番を!
- 犯罪について知っていることは積極的に通報をお願いします!
- 聞き込み捜査にご協力をお願いします!
- 被害に遭ったときには必ず届出を!

◎警察活動にご理解とご協力をお願いします。
沖縄警察本部 098-862-0110 本部警察署 0980-47-4110

村には皆様の様々な悩みにお答えするための相談窓口があります。相談は無料で秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

- ◎法律相談 (相談員) 玉城嵩男 弁護士
- ◎行政相談 (相談員) 新垣 侃 TEL 56-3148

とき 平成10年11月18日(水) 10時~16時
ところ 村コミュニティセンター

勢理客に屋外ステージ完成 平成十年度コミュニティ助成事業

この程、字勢理客の農村公園内に(財)自治総合センターの行う平成十年度宝くじコミュニティ助成事業により、モダンな屋外ステージが完成した。

当区では、旧暦八月十五日の伝統ある豊年祭や数々の行事が行われ、区民・郷友会等多くの方々が集い、地域活性化の一役を担ってきた。

これまでの舞台は、老朽化した上、行事の度に組立て解体作業を行うなど安全面に欠け、また多くの人手を必要とすることから区民の大きな負担となっていたが、ステージの完成により「舞台作成の手間が省け練習時間にゆとりが持てる。すばらしい舞台で、すばらしい演舞を披露することができると区民一同待望の舞台完成を喜んでい



▲完成した屋外ステージ

「寄付」

- 村社会福祉協議会へ
 - 大城良仁さん、金城稔さん、友利安徳さん(宜野湾市嘉数一四二二)より三人の会、公演会を記念して五万円
 - 金良宗幸さん(仲宗根三七九より母、ツル様の香典返しとして十万円)
 - 村育英会へ
 - 諸喜田スエ子さん(仲宗根三三九)より夫、峯夫様の香典返しとして十万円
- ※ご芳志ありがとうございます。

11月/霜月

1 日	○文化祭
2 月	○心身障害児通園事業 (土日、祝祭日除く毎日) (9:00~17:00 コミセン) ○ディサービス (土日、祝祭日除く毎日) (9:00~17:00 コミセン) ○健康相談 (湧川、勢理客)
3 火	文化の日
4 水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~16:30 コミセン) ○ポリオ予防接種○健康相談 (天底、仲宗根)
5 木	○区長会 (14:00~ 2階会議室) ○健康相談 (運天、上運天)
6 金	ツール・ド・おきなわ (8日まで)
7 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○風しん予防接種 (中2) ○北部地区中学校駅伝競走大会○北山高校創立五十周年記念式典
8 日	○今帰仁郷友会運動会 ○沖縄県高等学校駅伝競走大会、村運動公園スタート (女子10:00 男子12:20)
9 月	○健康相談 (古宇利)
10 火	
11 水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~16:30 コミセン)
12 木	○歯科相談
13 金	○婦人検診 (モレ者 13:00~14:00 コミセン)
14 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○スーパードッジ大会
15 日	○村バスケットボール大会 ○県知事選投開票
16 月	○村親善チャリティーゴルフ大会 (嵐山ゴルフ倶楽部)
17 火	
18 水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~16:30 コミセン) ○無料法律及び行政相談 (10:00~16:00 コミセン)
19 木	
20 金	○区長会 (14:00~ 2階会議室) ○ディケア グランドゴルフ大会 (沖縄市) ○老人大学地域交流会

21 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
22 日	○壮年ソフトボール大会 ○県中学校駅伝競走大会
23 月	勤労感謝の日
24 火	
25 水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン)
26 木	○地域リハビリテーション推進交流会
27 金	○一人暮らし老人激励会
28 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○学対実践発表会 ○県民体育大会 (29日まで、那覇市)
29 日	
30 月	

12月/師走

1 火	
2 水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~16:30 コミセン)
3 木	
4 金	○DPT予防接種
5 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
6 日	○今帰仁中学校創立五十周年記念式典
7 月	○区長会 (14:00~2階会議室)
8 火	○1才半・3才児健診
9 水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~16:30 コミセン)

編集後記

■皆さんはこの写真何だと思いでしょか。これは二カ月ほど前に私の車庫のコンクリートの中から人の目も気にせず、突然芽を出した一本のさし草(方言名)の勇姿です。

■さし草は、ヤギの好物としても有名ですが、一旦その生い茂っている畑に入るや否や体中に種子を吹き付けられた記憶はだれにもあると思います。この旺盛な繁殖力は他に類を見ないほどです。

■車庫の真夏の温度は四十度以上、砂漠を思わせる苛酷な条件の中で生き抜く力はいつたい何だろうか。雑草として生まれきたゆえの生命力なのか…!

■今の子どもたちにも雑草(さし草)の如く伸び伸びとたくましく生きてほしい。

